

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箕面市船場東三丁目計画	階数	地上30F
建設地	大阪府箕面市船場東三丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	431 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2022年1月20日
敷地面積	3,715 m <sup>2</sup>	作成者	(株)IAO竹田設計 大阪二事務所 山口隆幸
建築面積	1,895 m <sup>2</sup>	確認日	2022年1月20日
延床面積	47,216 m <sup>2</sup>	確認者	(株)IAO竹田設計 大阪二事務所 山口隆幸



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	建物利用者の快適な生活環境を維持するため開口部の遮音性を高め、安全性の面からはF☆☆☆☆の内装材の使用し、耐用年数の高い建材の使用やリサイクル材の使用は資源の有効利用につながる。	その他 特になし
Q1 室内環境	開口部の遮音性を高め、F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用、室内環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 南側に公園を設け、建物利用者や地域住民の憩いの場所を提供するとともに良好な温熱環境に心がけている。
LR1 エネルギー	LED照明等、設備システムの効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 路上駐車させないように、適切な台数の駐車・駐輪場の設置や管理用車両や荷捌き用車両の駐車施設を確保している。
Q2 サービス性能	住宅性能表示基準で劣化対策等級3を取得し、耐用年数の長い建物としている。 また情報社会に対応し光配線を導入し、1Gbitのブロードバンドを利用できる。	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を採用し、室内の良好な環境に努めている。またリサイクル材を採用し、資源の有効利用に心がけている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0107

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)箕面市船場東三丁目計画						
	建設地	大阪府箕面市船場東三丁目						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							